

分野：A

## (総合的な学習の時間)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

所沢市立宮前小学校

5年(73人)

所要時間



2時間

場所

北中・水野の森

実施時期

令和2年11月11日

## 概要

おおたかの森の中で県景観地に指定されている北中・水野の森を豊かにしよう。市民団体と市と県が協働して雑木林を守り育てている状況と秋の生きもの探しとノコギリと太枝ばさみを使い、森を豊かにする手入れを学習します。

プログラムの  
ねらい

ゴミ袋の有料化の話し合いから、地球規模の環境問題を学び、地域で何が起きているのか、どうしたら守れるのかをテーマに話し合いが進められてきました。今回は、宮前小学校から徒歩10分にある「北中・水野の森」を守り育てるためにできることを実践します。

## プログラムの内容

## 1 学校から徒歩(10分)

秋の森を観察しながら活動場所へ

## 2 秋の生きものたちの説明(10分)

スズメバチへの対応と樹木の見分け方

実生で育ったアカマツの周りの樹木を伐る理由を説明する。

## 3 用具の使い方と数の確認(5分)

## 4 森に入って活動(70分)

切り出した樹木を虫元気に利用する。

## 5 用具の数を確認(5分)

## 6 感想と質問(10分)

## 7 徒歩で学校へ(10分)

## 受講者の反応

森の樹木の種類が多いことに驚いた。アカマツは見つけやすかった。アカマツが見つかったときはうれしかった。服に種が付いてなかなか取れなくて困った。ハチの巣を見つけたが幼虫は入っていなかった。森が明るくなったのでアカマツが元気に育ってくれると嬉しい。

## 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

